



氏名 SR
所属 文学部 文化構想学科
学年 4年

留学先 交換留学（ソウル市立大学）
留学期間 2024/2/26~2024/7/3

留学レポート Study Abroad Report

こんにちは。私は、2024年2月から7月までの約半年間、韓国にあるソウル市立大学で交換留学をしました。もともと留学に行ってみたいという気持ちがあり、大学で第二外国語として学び始めた韓国語をもっと上達させたいということと、興味のある韓国の文化についてもっと深く触れたいということから、韓国への留学を決めました。

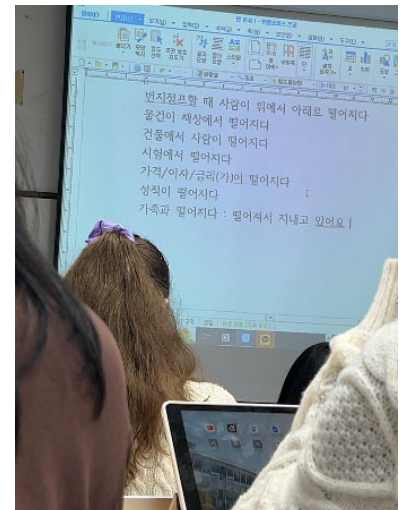
ソウル市立大学について

ソウル市立大学は名の通りソウル市内にある大学ですが、ソウル中心部からは少し離れたところにあって、観光地として有名な東大門市場よりも東側にあります。最寄り駅は清涼里駅と回基駅の二つがあり、清涼里駅側に正門、回基駅側に後門があるのですが、寮に近い後門側にはとても急な坂があります。ちなみにどちらの駅も（ちなみにバス停も）寮から行くには徒歩20分ほどかかるので、外出するときは少し大変でした。

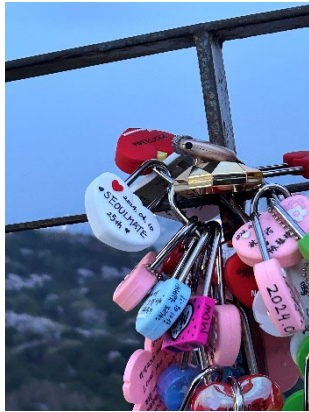


授業・学校生活

授業は、留学生用の授業を5つとりました。週5コマときくと、日本では少なく感じるのですが、この大学では一つの授業が3時間行われるので、周りの留学生のなかでは多い方でした。私が受講していたのは、中級韓国語1、2、韓国語の発音、韓国の伝統と文化、韓国のマスメディアと大衆文化の5つです。授業では、韓国ドラマのセリフをアフレコする録音課題が出たり、ダンスカバープレゼンテーションもしたりしました。マスメディアの授業では、フィールドトリップで音楽番組の事前収録の見学に行くなど、とても貴重な体験ができました。試験期間には普通のテストに加えて韓国語でのスピーチ、英語でのレポートとプレゼンなどもあって、友達と夜遅くまで図書館で勉強する日もありました。大変でしたが、大学の図書館では試験期間でなくても毎日夜中までたくさんの学生が勉強しているので、自分もがんばらないと、と励みになっていました。



ソウル市立大学にはソウルメイトという団体があり韓国人と留学生のバディ制度があります。韓国人 1 人につき留学生 5~7 人ほどのグループで、韓国人学生が韓国での日常生活や学校生活での手助けをしてくれたり、グループがいくつか集まっていろいろなところに連れて行ってってくれたりします。ソウルメイト主催のスポーツ大会や MT という泊まりの行事もありました。また、チュータリングといって、ソウルメイトが週に一度韓国語を教えてくださいました。チューターの韓国人学生には、ご飯に連れて行ってもらったり、ボードゲームカフェに誘ってもらって一緒にボードゲームをしたりもして、とても親切にしてもらいました。学祭の日にもちょうどチュータリングの活動があったので、一緒に学祭のブースを回ったりもしました。



韓国の大学の学祭には、アイドルやアーティストが出演することが多く、事前に並んでリストバンドをもらおうと前の方で見ることができます。ソウル市立大学の学祭も 3 日間あり、ラッパーやバンド、アイドルなど毎日違うアーティストのステージを見ることができました。ほかにも学科やサークルのブースや、フリーマーケット、食べ物の屋台、居酒屋のようなお酒が飲める屋台、テーマパークのようなアトラクションなど、とても学校全体が盛り上がっていてとても楽しかったです。



生活環境

寮は、フロアにある共用のシャワー・トイレを使い、2 人 1 部屋で住む生活館と、シャワー・トイレが 3 人で共有、1 人部屋のある国際学舎の 2 つがあり、私は国際学舎の方に住んでいました。シャワー・トイレを共有するルームメイトは 2 人とも日本人だったので、留学生活でありがちな生活する上での生活習慣の違い等の苦労はほとんどありませんでした。寮には、男女共用のキッチンと食事のできるスペース、ランドリールーム、コンビニもありとても便利でした。ロビーでは同じ寮に住む友達と夜遅くまで話をしたりしていました。

食事に関しては、平日は基本的に昼夜学食を利用していました。学校内にはいくつか食堂がありましたが、私は学生会館にある食堂が、一番高くても 5000 ウォンととても安かったので、そこを主に利用して

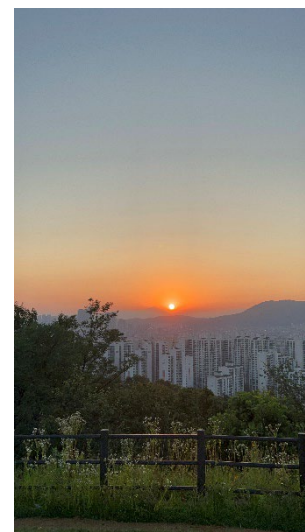
いました。昼は、ラーメンと夏季限定の冷麺は固定で、日替わりのメニューが2つあり、夜は日替わりメニュー2つから選べました。朝食は行かなかったのですが、曜日によっては無料で食べられるそうです。学校内にはカフェもあり、そこで勉強をしたり、友達と話したりもよくしていました。

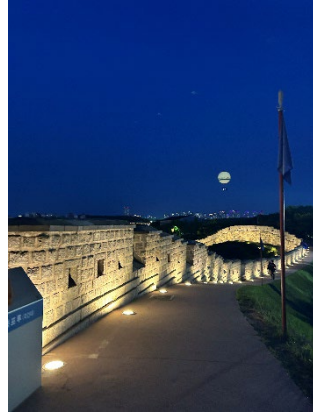


その他の思い出

授業が火水木だけだったので、他の日は友達と出かけることが多かったです。半年という短い期間しかないのに、やりたいことはやって行きたいところは行こう！とたくさん外に出ました。学校周りの飲食店やカフェを開拓してみたり、ミュージカルを観に行ったり、市場に行ったり、授業を通して仲良くなったアフガニスタンの友達とスウェーデン料理を食べてゴルフをしたり、ドイツ人の友達と公園でピクニックをしたり、漢江公園で噴水ショーを見ながらチキンを食べたり、寮の裏の山に登って日の出を見たり、本当にいろいろなことをしました。帰国前には初めて映画館に映画を観に行ったのですが、韓国語音声のものを字幕なしで観ても、セリフや内容がちゃんと理解できて、語学力の成長を感じられました。また、ソウルメイトを通じて知り合ったいろんな韓国人学生とも遊びに行きました。会話はすべて韓国語でしたが、楽しい時間を過ごせました。

ソウル以外では、水原に2回と釜山に行きました。1回目の水原では、日本が大好きだと話しかけてくれたメキシコ人の友達、台湾人の友達、日本人の友達の4人でエバーランドというテーマパークに行きました。彼女らは韓国語が話せなかったため英語でコミュニケーションをとっていたのですが、とても楽しかったです。2回目の水原は、水原市内を観光しました。世界遺産の水原華城を歩いて、夜には初めて気球にも乗りました。釜山には特急列車に乗って2泊3日で行きました。海沿いの綺麗な文化村に行ったり、スカイカプセルという小さなモノレールのようなものに乗ったり、美味しいものをたくさん食べて満足しました。出会って数カ月の人と泊りで旅行に行くのは初めてだったのですが、とても楽しく一生の思い出ができました。





韓国は日本に比べて交通費がとても安いので、移動がとても便利でした。日本の私の地元だと、2 駅先のバイト先まで 5 分乗るだけで 170 円ほどかかりますが、韓国は、市内だと基本地下鉄は一律 1400 ウォン、バスは 1500 ウォンで、乗り換えても一定時間内ならば基本的に追加料金はありません。一度 70 分ほどバスに乗ったときも 1500 ウォンだったので、すごく良いなと思いました。

最後に

半年という短い間だったけれど、今回の留学を通して、語学力の向上はもちろん、韓国の文化についても深く知ることができ、またいろいろな国の人たちとの出会いによって多種多様な価値観を学び、とても貴重でいい経験ができました。最初はとても不安でしたが、留学を終えて振り返ると、毎日が刺激的で、本当に行って良かったと思っています。慣れない異国の地で、多種多様な人たちに囲まれて一人で暮らす、というこの留学での経験は、自分自身の成長につながったし、これからの自信にもなると実感しています。語学への熱もさらに上がったので、これからも勉強を続けていきたいです。